

6月28日

花壇整備を通してふるさと愛を培って  
園児・児童・生徒によるフラワータッチ

世代を超えて協力しながら



町内幼稚園・保育園の年長児、全小・中学校と弟子屈高校の児童・生徒が花壇への植栽を行う第1回フラワータッチ事業(同実行委員会主催)が6月28日、摩周森の公園で行われました。

自然環境を考え、ふるさと愛を育てる目的で開催されたもの。これまで行ってきた、清掃活動「クリーンタッチ」(2006～2009年度)、植樹「グリーンタッチ」(2010～2012年度)、外来種植物の駆除「ジュニア・パーク・レンジャー」(2013～2015年度)に続く新たな事業です。約700人の子どもたちが、マリーゴールドとサルビアの花苗980株を、協力し合いながら植栽しました。

6月28日

皆さんが歩きやすい登山道に  
摩周岳登山道でササ刈り

手分けして手際よく作業



川湯エコミュージアムセンターを運営している屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会(会長・徳永町長)を中心とした関係機関の皆さんが6月28日、摩周岳登山道の整備を行いました。

毎年、初夏と秋の2回、登山道入り口から西別岳への分岐点となる片道約5.6キロの間で実施されているものです。この日参加した20人は4グループに分かれ、森林組合員が機械で刈ったササを、熊手で登山道中央部に寄せ集めていきました。また、支障木の枝切りや標識周りの下草を刈る作業も行われ、歩きやすい登山道となりました。次回は10月に実施される予定です。

7月8日

地域の方の協力の下さまざまなアート体験  
弟子屈中学校2年生が宿泊研修

DJに初挑戦



弟子屈中学校(杉山稔校長)2年生の宿泊研修が7月7日から8日にかけて、川湯温泉で行われました。

同校では2年前から宿泊研修時、屈斜路在住のアートプロデューサー・今井善昭さんの協力の下、地域の方を講師に芸術に関する体験学習を行っています。今年は、木工作品制作、陶器制作、自然素材を使った絵の具の制作、DJ、アロママッサージ施術の5つの中から好みの体験講座を選択して受講。また、地場産の食材を使った調理実習も行いました。

7月7日

水の大切さを考える契機に  
なんだろう橋で77人が乾杯

ミズベリングに賛同して




「ミズベリングプロジェクト」の「水辺で乾杯」が7月7日、なんだろう橋で行われました。

ミズベリングプロジェクトは、水辺に親しみ、水の大切さを考える機会をつくろうと、国土交通省などが中心となってさまざまな活動を行っているもの。水辺で乾杯は、七夕の午後7時7分に各地で思いを共有しようといわれたもので、全国360カ所以上で行われました。青くライトアップされたなんだろう橋には、町民の方や観光客のほか、釧路開発建設部や役場の職員、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイのメンバーなどが青い服で集まり、青い風船を手に乾杯を行いました。

7月16・17日

連日大賑わい  
道の駅で姉妹都市・日置市の物産展

日置市の名物を堪能



本町の姉妹都市・鹿児島県日置市の物産展が7月16・17の両日、道の駅摩周温泉で開催されました。


道の駅のリニューアル5周年を記念して開催されたものです。さつま揚げやサツマイモ、黒毛和牛、芋焼酎などの特産品が並び、観光客や地元の皆さんでにぎわいました。また、揚げたてのさつま揚げや黒毛和牛焼肉の試食のほか、鹿児島黒牛をふんだんに使った「ひおき鍋」が無料で振る舞われ、長蛇の列ができました。

会場では「摩周温泉ゆけむり陶芸市」も同時開催され、こちらにも、多くの陶芸ファンが訪れました。

7月11日

道行くドライバーに交通安全を呼びかける  
旗の波による街頭啓発

安全運転を呼びかけ




町交通安全運動推進協議会と町交通安全協会の共催による旗の波街頭啓発活動が、全道夏の交通安全運動初日の7月11日、摩周観光文化センター前の国道391号で行われました。

開会式で同協議会長の徳永町長は、前日に町議会議員が酒気帯び運転容疑で現行犯逮捕されたことを陳謝。「飲酒運転を撲滅するとともに、交通事故のないまちづくりに町民一丸となって全力を尽くしたい」とあいさつしました。その後、参加した約70人が安全旗を手に、行き交うドライバーにパンフレットなどの啓発グッズを手渡し、交通安全を呼びかけました。

6月3日

全国の皆さんに弟子屈の活動をPR  
全国女性消防団員活性化北海道大会に参加

会場の前で




第22回全国女性消防団員活性化北海道大会が6月3日、札幌市で行われ、弟子屈消防団女性消防部(嶋崎静江班長)の皆さんが参加しました。

同部の皆さんは、全国で4団体のみが行う「仮装でアクションPR部門」に選ばれ、脚本や衣装、小道具を自ら作成し、日々練習を重ねてきました。大会では「安心してください!防火対策と救命」と題し、一般家庭に次々に巻き起こるトラブルを弟子屈消防団の藤田茂団長とともにコミカルに上演。全国から約3,000人が集まった会場を盛り上げ、同部を全国にPRしました。

カメラスケッチ

広報が行く!!

このページは皆さんからの  
情報で作られています。  
どのような情報でもすぐに  
かけつけます。  
お気軽にご連絡ください。




まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913(課直通)

6月23日

災害時の対応など学ぶ  
LPガス協会釧路支部弟子屈分会が防災研修

講演に聴き入る皆さん




北海道LPガス協会釧路支部弟子屈分会(上村保範分会長)の皆さんが6月23日、役場総務課防災対策専門官を講師に招いて防災研修を行いました。

同分会は、町内のLPガスを取り扱う事業所4社で構成。今回の防災講演には、釧路市の事業所も含めて約30人が参加しました。研修では、町内で起こり得る災害の種類と様相、発災から復興までの流れ、災害発生から復旧・復興活動における同協会の役割などについて学びました。上村分会長は「今後も役場や関係機関と連携を図りながら、町の災害対策に寄与していきたい」と話していました。

6月21日

子どもたちのため安心・安全・味にこだわり  
学校給食の試食会を開催

おいしい給食に舌鼓



町学校給食センター主催の給食試食会が6月21日、弟子屈中学校で開催されました。

児童・生徒が普段食べている学校給食を一般の方にも知ってほしいと開催されたもので、昨年12月に続き2回目の開催。15人が参加し、同センターや学校給食についての説明を受けた後、この日のメニュー、コッペスライスパン・パイナップルジャム・マカロニグラタン・春雨スープ・牛乳を味わいました。添加物や加工品をなるべく使わないなど食材の吟味はもちろん、手作りにもこだわっている給食はジャムも手作り聞き、参加者の皆さんは驚いていたようでした。

6月25日

日本酒の古来からの飲み方を知ってほしい  
川湯温泉で純米燗酒を楽しむイベント

純米燗酒を堪能



川湯地区の酒販店や飲料店などの有志でつくる「川湯酒泉会(金子高志会長)」主催の「純米燗酒を楽しむ会in川湯温泉」が6月25日、川湯温泉のホテルで開催されました。

燗酒は平安時代から伝わる飲み方で、体にも優しいといわれています。会は、日本酒本来の味わい方を知ってほしいと開催されたもので、道内外から約110人が参加。会場では、全国各地5つの酒造会社の純米酒25種が燗酒で提供されたほか、弟子屈特産の摩周そばや摩周和牛、マンゴーなどを使った料理が用意されました。金子会長は「好評だったので、毎年開催していきたい」と話しています。

6月25日

勤労報国隊を忘れない  
援農の碑記念式を開催

援農への感謝を込めて



太平洋戦争中の1945(昭和20)年、北海道援農勤労報国隊として本町に派遣された岩手県久慈農林学校(現・久慈東高校)の生徒をたたえる「援農の碑」記念式が6月25日、摩周観光文化センター敷地内にある同碑前で行われました。

同碑は、生徒たちの功労を忘れず感謝していこうと1989年6月25日、かつて受け入れ農家だった方など関係者が建立。同碑前での式典は、関係者で組織する「6・25会」が中心となって毎年6月25日に行っています。今年は久慈市からの参加者も含め約30人が出席し、生徒たちの功労や苦勞に思いをはせました。